

YAMAHA ELECTONE®



G-501
取扱説明書

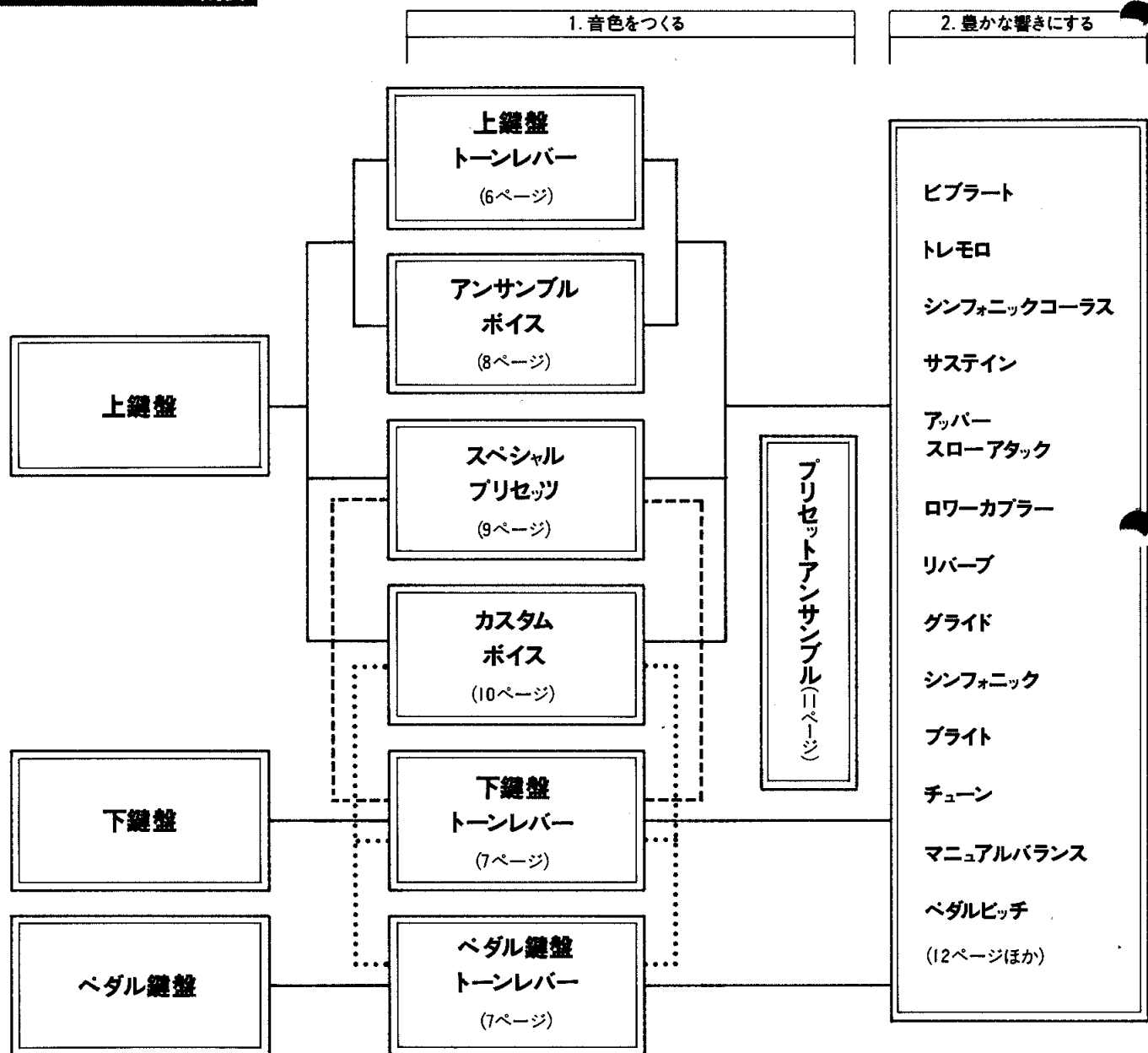
このたびはヤマハエレクトーンをお買い
あげいただきまして、まことにありがとう
ございます。

エレクトーンC-501は、永年つちかってきた楽器
づくりの経験と技術をもとに、時代の先端をいく電
子テクノロジーをふんだんにとりいれて完成させた
最新型の電子オルガンです。特に、ヤマハが独自
に開発したデジタル技術によって実現した「自然で
生き生きとした音」「豊かな響き」は、どなたにもご満
足いただけることと思います。さらに初心者の方で
も手軽に楽しめる数々の自動演奏機能を取りいれ
ていますので、ご家族全員でご愛用いただけます。
演奏にあたりましては、その多彩な機能を存分に
お楽しみいただくため、あらかじめ本書をご読
みください。よろしくお願いいたします。

●目次●

| | |
|------------------------------|----|
| 1. レバーやボタンの名称。…………… | 2 |
| 2. まず音をだててみましょう。…………… | 4 |
| 3. いろいろな音色をつくってみましょう。…………… | 6 |
| 4. 音に表情をつけて、豊かな響きに。…………… | 12 |
| 5. メロディーにハーモニーがつけられます。…………… | 16 |
| 6. リズムを加えてみましょう。…………… | 17 |
| 7. 自動伴奏を楽しみましょう。…………… | 20 |
| 8. アルペジオ(分散和音)伴奏も楽しめます。…………… | 23 |
| ● 付属端子と音のエチケットについて…………… | 24 |
| ● 仕様と音域表…………… | 25 |
| ● エレクトーン教室のご案内…………… | 26 |
| ● 末永くお楽しみいただくために…………… | 27 |
| ● このような現象は故障ではありません…………… | 28 |
| ● サービスと保証について…………… | 30 |
| ● エレクトーン豆知識…………… | 32 |

エレクトーンC-501の概要



1

レバーや
ボタンの名称。
〔各部の名称〕

2

まず音を
だしてみましょう。
〔音をだすには〕

3

いろいろな音色を
つくってみましょう。
〔音色〕

4

音に表情をつけて、
豊かな響きに。
〔効果〕

5

メロディーにハーモニーが
つけられます。
〔メロディーオンコード〕

6

リズムを
加えてみましょう。
〔オートリズム〕

7

自動伴奏を
楽しみましょう。
〔オートベース/コード〕

8

アルペジオ(分散和音)
伴奏も楽しめます。
〔オートアルペジオ〕

3. 楽しさをひろげる

メロディーに
ハーモニーをつける
〔メロディーオンコード〕
(16ページ)

リズムを加える
〔オートリズム〕
(17ページ)

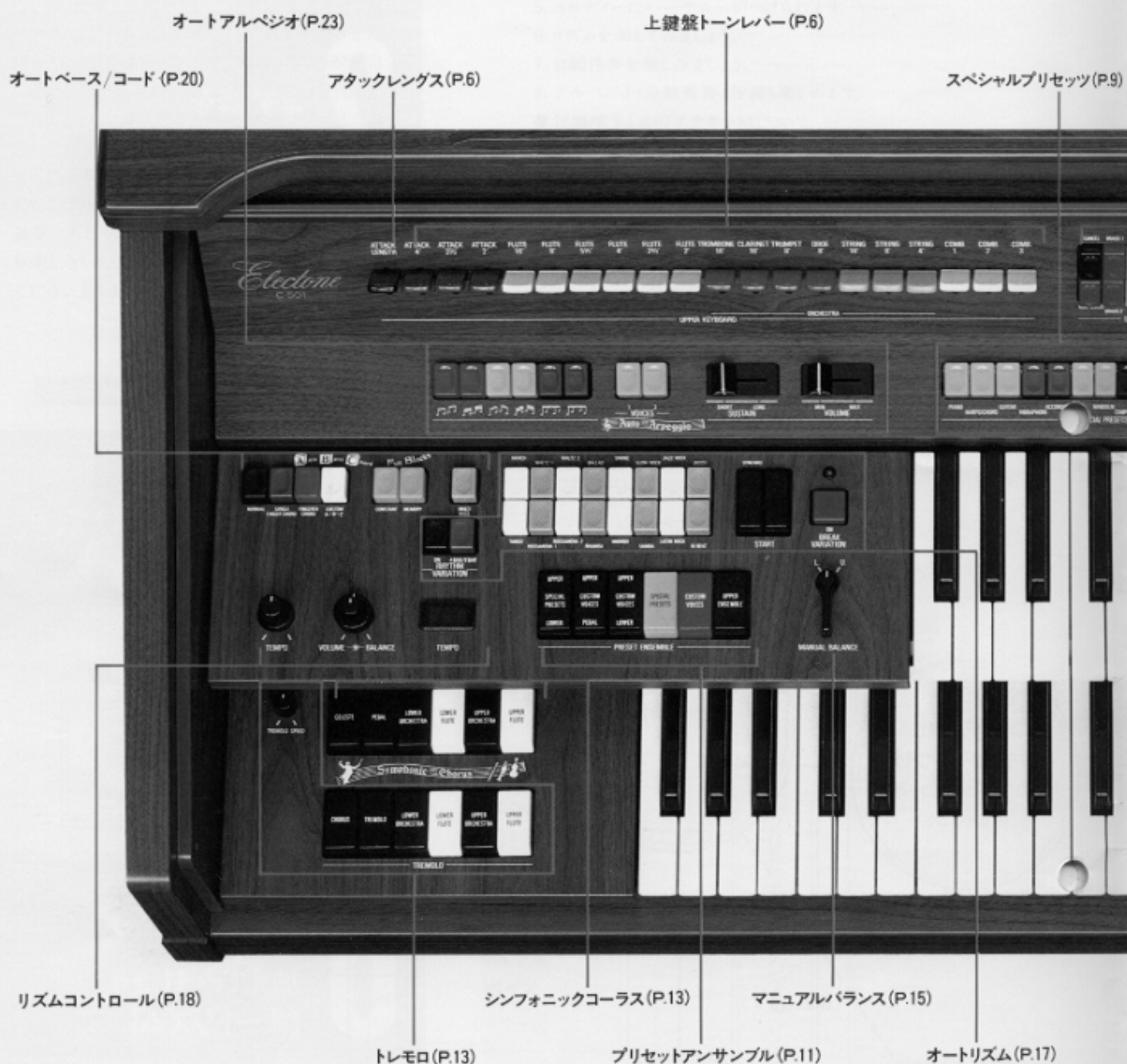
(連動します)

(連動します)

自動伴奏にする
〔オートベース/コード〕
(20ページ)

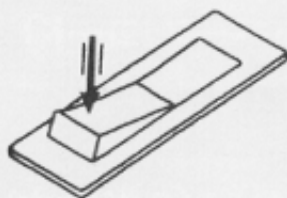
アルペジオ伴奏を
加える
〔オートアルペジオ〕
(23ページ)

レバーやボタンの名称。

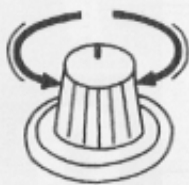
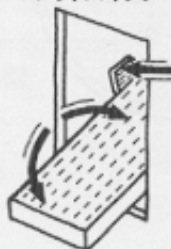


★レバーやボタンなどの操作のしかた

電源スイッチ



つまみ

エクスプレッションペダルと
フットスイッチ

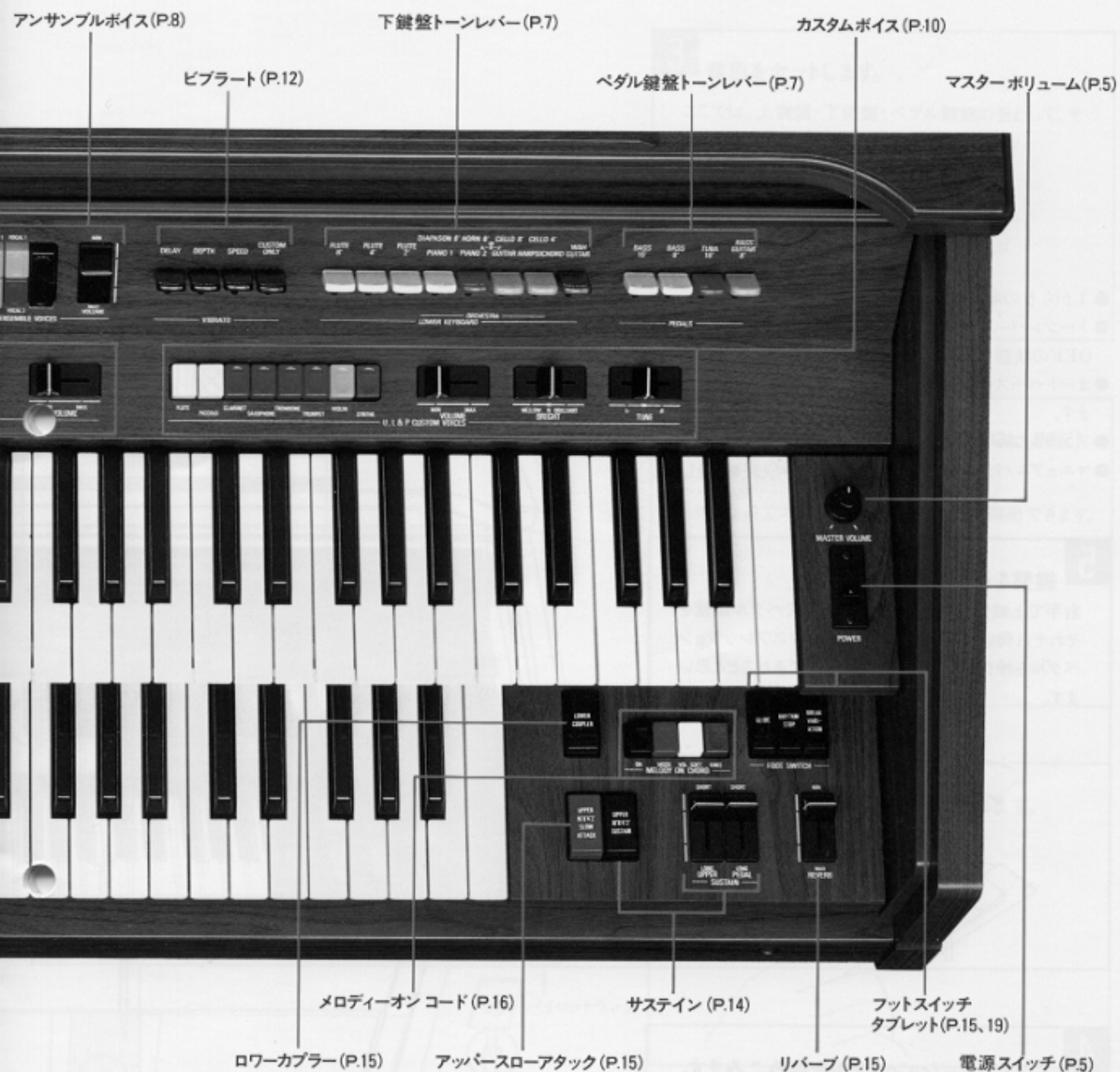
トーンレバー



セレクトボタン



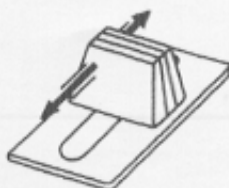
()内の数字は本書で説明しているページ数です。



タブレットスイッチ



スライドレバー



マニュアルバランスレバー



ニーレバー



まず音をだしてみましょう。

- 1 から 5 の順に操作してください。
- トーンレバー以外のボタンやタブレットスイッチは、すべて OFF の状態にしておきます。
- オートベース/コードはノーマルの黒いボタンを押しておきます。
- アンサンブルボイスはキャンセルのボタンを押しておきます。
- マニュアルバランスは、中央の位置にセットしておきましょう。

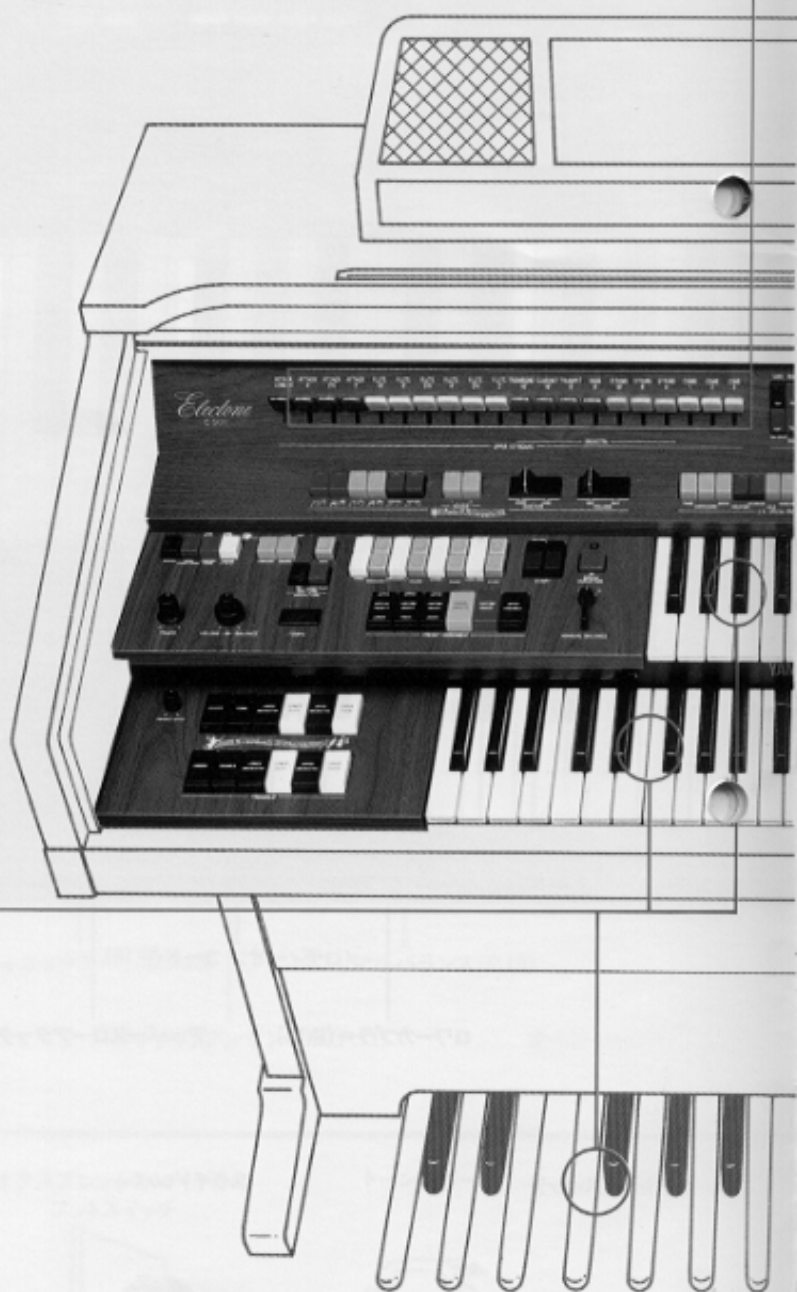
5 鍵盤を弾いてみましょう。

右手で上鍵盤、左手で下鍵盤、左足でペダル鍵盤をそれぞれ弾いてください。右足ではエクスプレッションペダルを操作します。それぞれ音がでてきたことと思います。



4 エクスプレッションペダルを踏みこみます。

これもエレクトーン全体の音量をコントロールするもので、演奏しながら音に強弱がつけられます。



3 音色をセットします。

ここでは、上鍵盤・下鍵盤・ペダル鍵盤の音として、それぞれのトーンレバーをセットしてみましょう。



2 ボリュームのつまみ(MASTER VOLUME)を中央ぐらいにセットします。

このつまみでエレクトーン全体の音量が調節できます。



1 電源スイッチ(POWER)を入れます。

パイロットランプが点灯します。



電源プラグをコンセントにさしこみます。



いろいろな音色をつくってみましょう。



上鍵盤トーンレバー

上鍵盤からはいろいろな音色がだせますが、まず、オルガンの音色をつくるトーンレバーからみていくことにしましょう。

① だしたい音色のレバーを下にさげてみましょう。

フルート系は白、管楽器系は赤、弦楽器系は黄色、アタックなど効果がかみこまれている音色は緑色に、それぞれ色分けされています。また、管楽器系と弦楽器系をあわせてオーケストラ音色といいます。

② 上鍵盤をおさえると、セットした音色がでてきます。

③ 音量を3段階にコントロールできます。

音色をセットするとともに、それぞれのレバーで音量も細かくコントロールできます。途中2カ所でレバーがセットできるクリックストップ式になっていて、一番下が最大の音量になります。



④ 何種類でも、自由に組み合わせられます。

付属の「楽しみましょう、エレクトーン」を参考にして、いろいろな音をつくりだしてみましょう。

● カブラー効果とは。

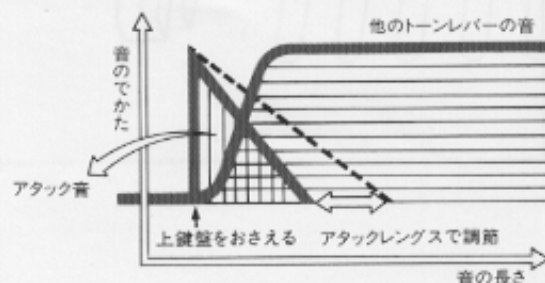
楽器名の後の数字は音程を示すもので、8'(8フィート)が基準の音程です。例えば、フルート16'・8'・4'を一緒にセットすれば、1オクターブずつちがう3つの音を同時にだすことができ、より厚みのあるサウンドが作りだせます。これをカブラー効果と呼んでいます。それぞれのフィートの音程と使われ方の例を示しておきましたので参考にしてください。

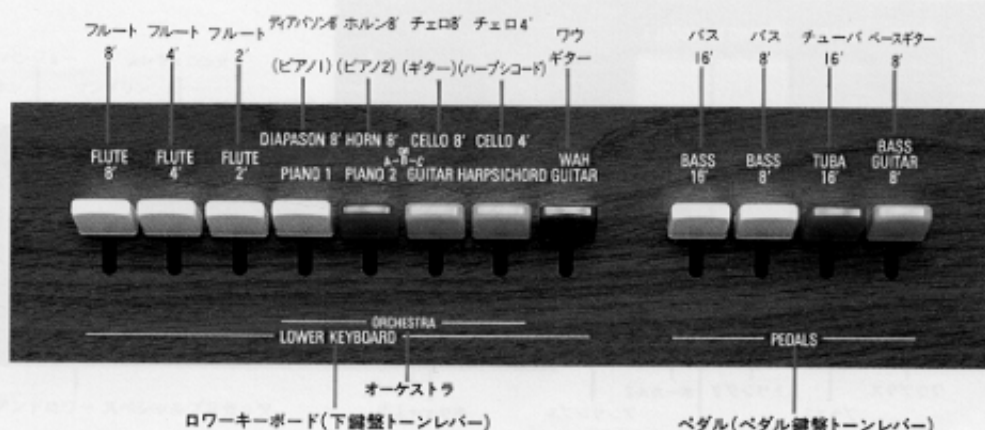
| フィート | でてくる音の高さ | 使われ方の例 |
|--------|------------|----------------|
| 16' | 1オクターブ下 | 厚みのある響きにする |
| 8' | 基準の高さ | 基本になる音 |
| 5 3/4' | 5度上 | ジャズオルガン的な感じにする |
| 4' | 1オクターブ上 | 強さと明るさを加える |
| 2 3/4' | 1オクターブと5度上 | するどい感じにする |
| 2' | 2オクターブ上 | きらびやかな感じにする |

● アタックとアタックレングスについて。

アタックは立ちあがり早く、長さの短い音色です。ほかのトーンレバーと組み合わせることで、歯切れのよい音が作りだせます。

アタックレングスは、アタック音の長さをセットするもので、下にさげるほどアタック音が長くなります。





下鍵盤トーンレバー

●コンビネーションの音をだしてみましょう。

コンビネーションにはトーンレバーをいくつか組み合わせた音色があらかじめセットされています。レバーをひとつ入れるだけで、よく使われるサウンドが簡単に得られて便利です。

コンビネーション1……歯切れのよいジャズオルガンサウンド

コンビネーション2……荘厳な感じのチャーチオルガンサウンド

コンビネーション3……広がりのあるシアターオルガンサウンド

コンビネーションの音色は単独で使うもので、ほかの上鍵盤トーンレバーとは組み合わせられません。同時にセットするとコンビネーションの音色だけがでできます。

★コンビネーションの音色には、ほかのトーンレバー音色と同様に、トレモロ、シンフォニックコーラス、サステインなどの効果をかけることができます。

★クリックストップ式にはなっていないので、一番下までさげてください。

★コンビネーションのレバーを2つ以上同時にセットすると右側のレバーが優先します。

下鍵盤からだす音色をセットするレバーで、上鍵盤トーンレバーと同じように、組み合わせることができます。

●ABCトーン

ディアパゾン8'、ホルン8'、チェロ8'、チェロ4'の音色は、オートペース/コード(自動伴奏)を使うときに、下段の音色(ABCトーン)に切りかわります。(20ページを参照してください)

●ワウギター

ワウ効果の組みこまれたギターの音で、オートリズムを使っているときにこの音色をセットすると、“ワウワウ”という感じでリズムをきぎみます。

ペダル鍵盤トーンレバー

ペダル鍵盤からだす音色をセットするレバーで、組み合わせることもできます。

●バス16'・バス8'

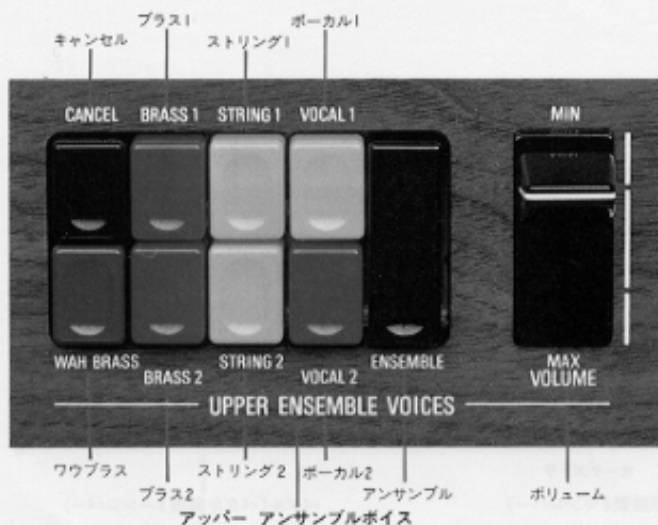
コントラバスの重厚な音色です。特に16'は体に感じるような低音の響きが得られます。

●チューバ16'

バスにくらべ、奥ゆきとつやが感じられる金管楽器の音色です。

●ベースギター8'

立ちあがり早く、途中で消えていく減衰音ですから、歯切れのよいベース演奏ができます。



アンサンブルボイス

上鍵盤からだす音色をセットする機能のひとつで、いろいろなアンサンブルサウンドを簡単に選ぶことができます。単独で使えますが、ほかの上鍵盤の音色と組み合わせることもできます。

① 音色をひとつ選びましょう。

音色を選ぶ7つのボタンの中から、ひとつ選んで押してください。(キャンセルとアンサンブルは音色を選ぶボタンではありません)

ワウブラス……ワウ効果のきいた金管楽器の音
 ブラス1 ……トランペット合奏のようなサウンド
 ブラス2 ……ホルン合奏のようなサウンド
 ストリング1 ……バイオリン合奏のようなサウンド
 ストリング2 ……チェロ合奏のようなサウンド
 ボーカル1 ……女声合唱のようなサウンド
 ボーカル2 ……男声合唱のようなサウンド

★2つ以上のボタンを一緒にセットすると、下段または右側の音色が優先します。

② 音量をコントロールします。

ボリュームのスライドレバーで、アンサンブルボイスの音量を調節してください。下にさげるほど音が大きくなります。



③ 上鍵盤をおさえると、選んだ音色がでできます。

④ アンサンブルのボタンを押して、上鍵盤トーンレバーと組み合わせさせてみましょう。

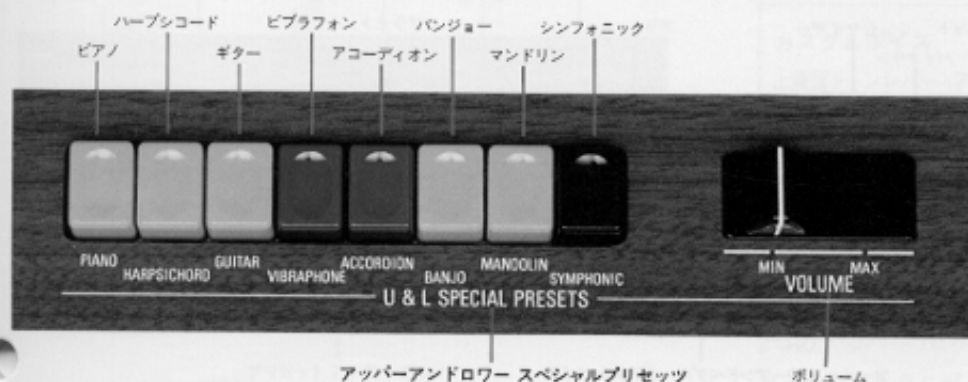
上鍵盤トーンレバーとアンサンブルボイスの音色を組み合わせたいときは、たて長のアンサンブルのボタンを押してください。より豊かなサウンドが作りだせます。

★アンサンブルボイスを使っているときは、アンサンブルのボタンを押さないと、上鍵盤トーンレバーの音色はでなくなります。

★アンサンブルのボタンを入れたときは、ブラス2、ストリング1・2、ボーカル1・2の立ちあかりが早くなり、ストリング1・2、ボーカル1・2の短いサステインがなくなります。

● キャンセル

アンサンブルボイスが必要でないときは、キャンセルのボタンを押してください。



スペシャルプリセット

ピアノやビブラフォンなどいろいろな楽器特有の響きが、あらかじめセットされている音色です。ほかの上鍵盤の音色と組み合わせたり、下鍵盤に移して使うこともできます。(11ページを参照してください)。ここではまず、上鍵盤から単独でだしてみましょう。

①音色をひとつ選びましょう。

楽器音を選ぶボタンは7つありますから、だしてみたい音色のボタンをひとつ選んで押してください。(シンフォニックは音色を選ぶボタンではありません)

★2つ以上のボタンを一緒にセットすると、右側の音色が優先します。

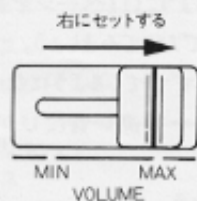
②スペシャルプリセットのタブレットを入れましょう。

上鍵盤の左横にあるプリセットアンサンブルの6つのタブレットのうち、黄色のスペシャルプリセットを入れてください。このタブレットがスペシャルプリセットのスイッチになっています。



③音量をコントロールします。

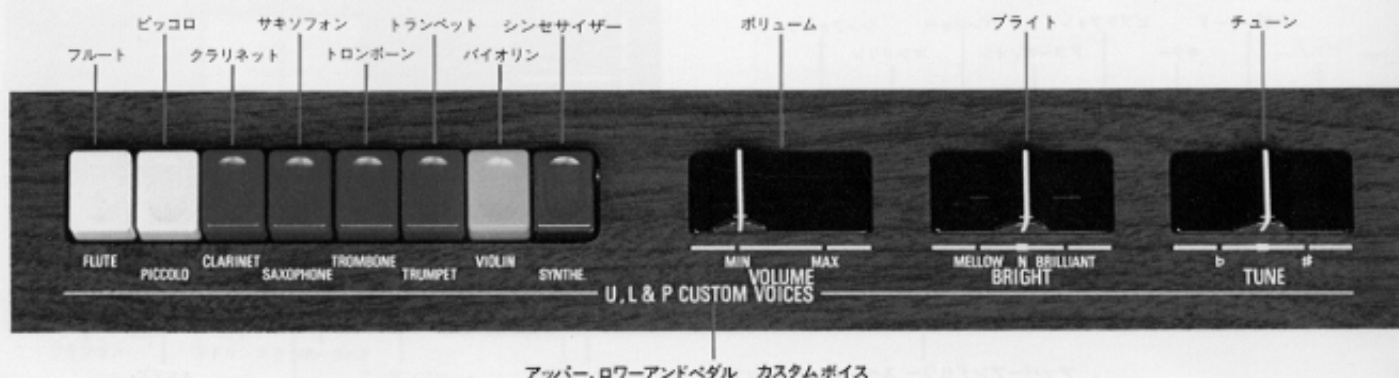
ボリュームのスライドレバーでスペシャルプリセットの音量を調節してください。右にセットするほど音が大きくなります。



④上鍵盤をおさえると、選んだ音色がでえます。

⑤シンフォニック効果を加えてみましょう。

黒のシンフォニックのボタンを入れると、選んだスペシャルプリセットの音がひろがりのある響きになります。合奏しているときのような豊かな感じにしたいときは、このシンフォニックボタンを押してください。



カスタムボイス

いろいろな楽器特有の響きがセットされている音色ですが、音量、音色が微妙に変化するため、より実際の楽器音に近づいています。ほかの上鍵盤の音色と組み合わせたり、下鍵盤やペダル鍵盤に移して使うこともできます。(11ページを参照してください)。それでは、上鍵盤から単独でたてみましょう。

カスタムボイスの音は単音ででてくるようになっていて、鍵盤をいくつか同時におさえると、一番高い音だけがでてきます。

① 音色をひとつ選びましょう。

8つの楽器音のなかから、だしてみたい音色のボタンをひとつ選んで押してください。

★2つ以上のボタンを一緒にセットすると、右側の音色が優先します。

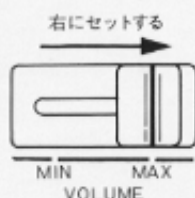
② カスタムボイスのタブレットを入れましょう。

上鍵盤の左横にあるプリセットアンサンブルの6つのタブレットのうち、赤のカスタムボイスを入れてください。このタブレットがカスタムボイスのスイッチになっています。



③ 音量をコントロールします。

ボリュームのスライドレバーでカスタムボイスの音量を調節してください。右にセットするほど音が大きくなります。



④ 上鍵盤をおさえると、選んだ音色がでてきます。

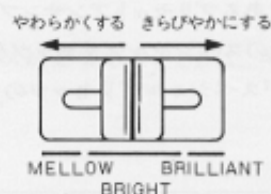
鍵盤をいくつか同時におさえると、一番高い音だけがでてきますので、ほかの音色と組み合わせでブロック奏をすれば、最高音のメロディー部だけにカスタムボイスの音色が重なり、立体的なサウンドが楽しめます。

● ブライト

ブライトのスライドレバーを使えば、カスタムボイス音色の感じを変えることができます。

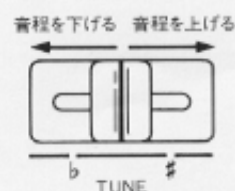
MELLOW (メロー) 側にセット……やわらかく豊かな感じにする。

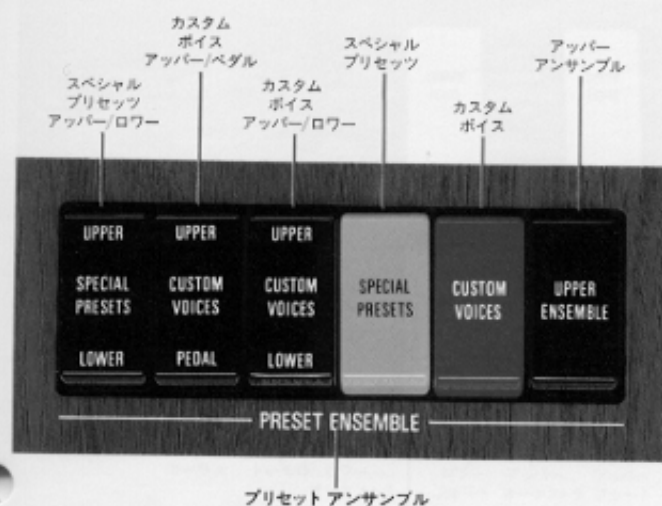
BRILLIANT (ブリリアント) 側にセット……明るくきらびやかな感じにする。



● チューン

チューンのスライドレバーを使えば、カスタムボイスの音程を微妙にコントロールできます。特に、音色を組み合わせているときは、少し音程をずらすことで立体的なアンサンブル効果が生れます。





プリセットアンサンブル

スペシャルプリセット音色とカスタムボイス音色のいろいろな使い方を決める機能です。6つのタブレットの入れ方で、上鍵盤で組み合わせたり、下鍵盤やペダル鍵盤に移して使うことができます。

●上鍵盤から単独で出す場合。

9ページと10ページで説明しているように、スペシャルプリセット、またはカスタムボイスのタブレットを入れると、上鍵盤から単独で出すことができます。

| 上鍵盤からでてくる音色 | タブレットのセット |
|-----------------------|-----------|
| スペシャルプリセット | |
| カスタムボイス | |
| スペシャルプリセット カスタムボイス | |

●上鍵盤トーンレバー・アンサンブルボイスと組み合わせてみましょう。

右端のアッパーアンサンブルのタブレットを入れると、セットしている上鍵盤トーンレバーやアンサンブルボイスの音色と組み合わせることができます。上鍵盤トーンレバーとアンサンブルボイスを組み合わせているときは、その両方と組み合わせられます。

| 上鍵盤からでてくる音色 | タブレットのセット |
|--|-----------|
| スペシャルプリセット 上鍵盤トーンレバー・アンサンブルボイス | |
| カスタムボイス 上鍵盤トーンレバー・アンサンブルボイス | |
| スペシャルプリセット カスタムボイス 上鍵盤トーンレバー・アンサンブルボイス | |

●下鍵盤に移してみましょう。

2つのアッパー/ロワーのタブレットを使えば、スペシャルプリセットとカスタムボイスの音色が下鍵盤に移り、下鍵盤トーンレバーの音色と組み合わせられます。下鍵盤から単独で出した場合は、下鍵盤トーンレバーをすべて切ってください。

| 下鍵盤からでてくる音色 | タブレットのセット |
|------------------------------------|-----------|
| スペシャルプリセット 下鍵盤トーンレバー | |
| カスタムボイス 下鍵盤トーンレバー | |
| スペシャルプリセット カスタムボイス 下鍵盤トーンレバー | |

アッパー/ロワーのタブレットとアッパーアンサンブルのタブレットを一緒に入れることもできますから、ここに示したタブレットのセットのほかにもいろいろな使い方ができます。例えばスペシャルプリセットは下鍵盤に移し、カスタムボイスは上鍵盤で組み合わせるといったような使い方ができます。

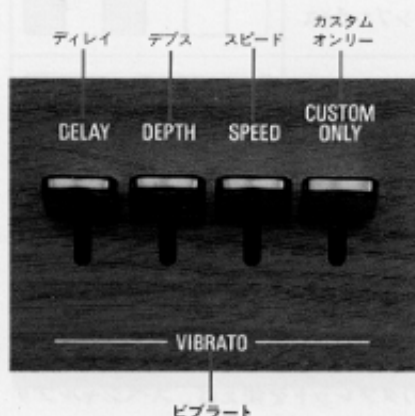
★オートベース/コードを使っているときは、スペシャルプリセットを下鍵盤に移すことはできません。また、シングルフィンガーコードを使っているときは、カスタムボイスを下鍵盤に移すことはできません。(20ページを参照してください)

●カスタムボイスをペダル鍵盤に移してみましょう。

カスタムボイスアッパー/ペダルのタブレットを使えば、カスタムボイスの音色がペダル鍵盤に移り、ペダル鍵盤トーンレバーの音色と組み合わせられます。ペダル鍵盤から単独で出した場合は、ペダル鍵盤トーンレバーを切ってください。

| ペダル鍵盤からでてくる音色 | タブレットのセット |
|------------------------|-----------|
| カスタムボイス ペダル鍵盤トーンレバー | |

音に表情をつけて、豊かな響きに。



ビブラート

音をこきざみにふるわせ、うるおいをもたせる効果です。ディレイ、デプス、スピードのレバーの操作によって次の2種類のビブラートが得られます。

① ふつうのビブラートをかけてみましょう。

デプスのレバーを下にさげるだけで、上鍵盤と下鍵盤の音にビブラートがかかります。クリックストップ式になっていて、下にさげるほど音のふるえ方が大きくなります。

スピードのレバーは、デプスのレバーでセットしたビブラートの速さをコントロールするもので、下にさげるほどふるえ方が速くなります。

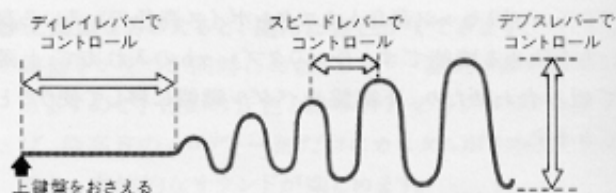
★スピードのレバーを入れただけでは、ビブラートはかかりません。

② ディレイビブラートをかけてみましょう。

デプスのレバーと一緒にディレイのレバーを入れると、上鍵盤の音にディレイビブラートがかかります。これは、上鍵盤をおさえてから、少しおくれで音がふるえはじめる効果で、ディレイのレバーを下にさげるほど、ふるえはじめるまでの時間が長くなります。スピードのレバーで速さを調節できるのは、ふつうのビブラートと同じです。ストリングの音色などにかけて、表情豊かな演奏をしてみましょう。

★ディレイビブラートは、デプスのレバーも一緒に入れなければかかりません。

★上・下鍵盤を同時に弾いているとき下鍵盤の音にも上鍵盤と同じタイミングでディレイビブラートがかかります。



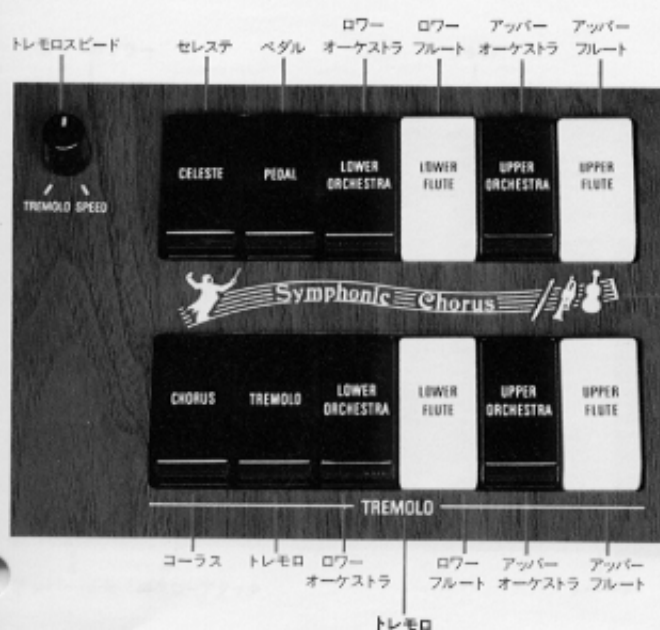
● カスタムボイスの音色だけにビブラートをかけてみましょう。

カスタムオンリーのレバーを使えば、セットしたカスタムボイスの音色だけにビブラートをかけることができます。まず、カスタムオンリーのレバーを一番下までさげてください。次に、ディレイ、デプス、スピードの3つのレバーでビブラートのかかりかたをコントロールします。すると、カスタムボイスの音色だけに、ディレイビブラートまたはふつうのビブラートがかかるようになります。

音色を組み合わせているときに使えば、カスタムボイスの音色がよりきわだち、表情豊かな響きが得られます。

なお、カスタムボイスの音色を下鍵盤やペダル鍵盤に移している場合でも、ビブラートをかけることができます。

★カスタムオンリーのレバーを入れただけではビブラートはかかりません。



シンフォニックコーラス

トレモロ

音にうねりをもたせ、うるおいと広がりのある響きにする効果です。6つのタブレットの操作によって、上・下鍵盤のトーンレバー音色に効果をかけることができます。

①まず、トレモロかコーラスのタブレットを入れます。

左側の2つのタブレットによって、うねりの速さを決めてください。

| タブレット | 役 割 |
|-------|----------------|
| トレモロ | 速いうねりのスイッチ |
| コーラス | ゆっくりしたうねりのスイッチ |

★2つ一緒に入れるとトレモロが優先します。

②効果をかける音色を選びましょう。

右側の4つのタブレットによって、トレモロ効果をかけるトーンレバー音色を選んでください。

| タブレット | トレモロ効果がかかる音色 |
|------------|--------------------|
| アッパーフルート | 上鍵盤トーンレバーのフルート音色 |
| アッパーオーケストラ | 上鍵盤トーンレバーのオーケストラ音色 |
| ロワーフルート | 下鍵盤トーンレバーのフルート音色 |
| ロワーオーケストラ | 下鍵盤トーンレバーのオーケストラ音色 |

●トレモロスピード

左上にあるトレモロスピードのつまみは、トレモロ効果のうねりの速さを微妙にコントロールするものです。普通は、中央の位置にセットしておきますが、右に回すとうねりが速くなり、左に回すと遅くなります。トレモロのタブレットを入れているときに使ってください。

シンフォニックコーラス

音に広がりをもたせ、多くの楽器で合奏しているような豊かな響きにする効果です。6つのタブレットの操作によって、上・下・ペダル鍵盤のトーンレバー音色に効果をかけることができます。

●効果をかける音色を選びましょう。

右側の5つのタブレットによって、シンフォニックコーラスをかけるトーンレバー音色を選んでください。タブレットを入れるだけで効果がかけられます。

| タブレット | シンフォニックコーラスがかかる音色 |
|------------|--------------------|
| アッパーフルート | 上鍵盤トーンレバーのフルート音色 |
| アッパーオーケストラ | 上鍵盤トーンレバーのオーケストラ音色 |
| ロワーフルート | 下鍵盤トーンレバーのフルート音色 |
| ロワーオーケストラ | 下鍵盤トーンレバーのオーケストラ音色 |
| ペダル | ペダル鍵盤トーンレバーの音色 |

●セレステを使ってみましょう。

上の5つのタブレットのどれかを入れているとき、このタブレットを一緒に入れてみましょう。シンフォニックコーラスのかかりかたがゆるやかになり、深みのある独特な響きが得られます。

★トレモロ効果とシンフォニックコーラス効果は組み合わせで使えます。ただし、同じ表示のあるタブレット(UPPER FLUTEとUPPER FLUTEなど)を一緒に入れると、シンフォニックコーラスが優先されます。例えば、フルート音色にはトレモロをかけ、オーケストラ音色にはシンフォニックコーラスをかける、というようにお使いください。